

広大通信



【連絡先】
広島大学広報グループ
〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2
☎082-424-4383 ☎082-424-6040
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学

新型コロナワクチン接種 本学の歯科医師を派遣

広島大学は2021年5月18日、新型コロナウイルスの接種会場に広島大学病院や大学院医系科学研究所、歯学部所属の歯科医師を派遣する方針を発表した。発表会見には木内良明病院長、津賀一弘副学長（医系科学研究担当）、谷本幸太郎歯学部部長、柴秀樹主席副病院長、大毛宏喜副病院長が出席した。

高齢者へのワクチン接種がスタートする中、打ち手の確保が大きな課題となっている。厚生労働省は4月末、歯科医師がワクチン接種を行うことを特例として認める通知を出した。これを受け、広島大学は全国の大学に先駆けて歯科医師を接種会場に継続的に派遣することを決定。

本学所属の歯科医師は非常勤も合わせて216人。できるだけ多くの賛同を得て、まずは土、日曜日を含め常時10人以上を派遣できる体制づくりを進めていく。

木内病院長は「国難ともいえるコロナ禍に対し、広島大学として主体的に取り組み、担い手不足に悩む自治体などに提案していきたい」と述べた。歯科医師でもある津賀副学長は「ワクチン接種を迅速に進めるため、国立大学の歯学部として率先して貢献していく決意です」と力を込めた。



除幕した越智学長と田代原医研所長



放射線先端医学実験棟1F 低線量率照射室

看板除幕式では、越智学長が「国内外の研究者による共同利用・共同研究の拠点となり、世界の放射線災害・医学研究領域の中心として発展してほしい」とあいさつ。続いて、関係者が見守る中、越智学長と田代所長により看板が除幕された。除幕式の後、報道関係者に実験棟の施設を公開した。

原爆放射線医学研究所に完成した「放射線先端医学実験棟」の本格稼働に合わせ、2021年5月13日に越智光夫学長、田代聡原医研所長らが出席して看板除幕式が行われた。

放射線先端医学実験棟は鉄筋コンクリート造5階建て、延べ床面積3980平方メートル。低線量放射線の照射装置を備えた放射線実験施設や動物実験施設、遺伝子実験施設に加え、放射線災害医療

分野の人材育成を目指す原子力災害トレーニングセンターを整備。原爆医療関連資料の保管、調査、解析を担う附属被ばく資料調査解析部も移転した。

原医研 「放射線先端医学実験棟」稼働 越智学長らが出席して看板を除幕

新型コロナ 霞キャンパスでプレスセミナー 研究者が記者と活発な意見交換

新型コロナウイルス研究者によるプレスセミナーを開催し、研究成果及び今後の展望について紹介を行った。

2021年4月28日に、霞キャンパスにて第1回を開催。2020年4月17日に設置した「広島大学 COV-PEACE PROJECT 2020」に参画している田中純子理事・副学長、大学院の大毛宏喜教授、大学院医系科学研究科の坂口剛正教授、田原栄俊教授、大段秀樹教授、久保達彦教授より、新型コロナウイルスに対する予防ワクチンや治療薬の開発、感染状況把握の疫学調査、遺伝子解析、ゲノム解析などの取り組みが紹介された。6人の研究者がそれぞれの専門分野について説明した後、記者との活発な意見交換を行った。

また、第2回を2021年5月14日に、同じく霞キャンパスにて開催。大学院医系科学研究科の保田朋波流教授、坂口剛正教授により、新型コロナウイルス変異株を無力化する中和抗体を10日間で作成する技術



質疑応答の様子。左から、田中理事・副学長、坂口教授、大毛教授、田原教授、大段教授、久保教授

